

■坂西志保 評論家。戦前アメリカ議会図書館日本部長でスパイ的活動、戦後は日本でアメリカ思想を啓蒙宣伝。

さかにししほ

白馬会・・・1896＝ 北海道の小樽近郊塩谷村で生まれる。

幼児洗礼をうけ、すぐ母と死別。

塩谷村小学校分教場に入学、_独立心強く変わり者と見られるなか、

日露戦争終・1905＝9歳：この年誕生した教師の子伊藤整をおぶって世話したこともあるが、

_学業放棄し、検定試験による資格を得て、

横浜捜真女学校卒業。

明治天皇没・1912＝16歳：

第一次大戦始1914＝18歳：

両親が新渡戸稲造に相談した際に勧められたのか、

東京女子大学も中退し、東京学院中等科英語教師をつとめたのち、_留学選考試験にあっさり合格して、

原敬首相暗殺1921＝25歳：

水平社結成・1922＝26歳：_アメリカのホイートン大学に留学。

関東大震災・1923＝27歳：_期限の1年立つも、関東大震災で帰国を断念、自活を始めるとともに、アメリカ永住志向となって行き、

治安維持法・1925＝29歳：_卒業すると、ミシガン大学大学院に進み、

美学を修め、

世界恐慌・・・1929＝33歳：_哲学博士となって、ホリンス大学哲学部助教授に就任。

海軍軍縮条約1930＝34歳：*アメリカ議会図書館日本部部长となり、

満州事変・・・1931＝35歳：

五一五事件・1932＝36歳：

_日本文献充実のため、獅子奮迅の活動をするが、

日中戦争始・1937＝41歳：

_日本海軍のスパイ的活動をしていたことから、アメリカ情報当局にマークされ、

日米開戦・・・1941＝45歳：_日米開戦になるや、秘密警察の来訪受け、

・・・1942＝46歳：*交換船浅間丸で強制送還。直ちに外務省囑託に迎えられ、

敗戦・・・1945＝49歳：*満州国外務省の依頼で、各地回りながら、関東軍将兵にアメリカ事情を講演、身の危険あって帰国。空襲で罹災し、千葉県我孫子町に疎開。敗戦を迎えるや、GHQ勤務を命じられ、アメリカ文化紹介役となり、

新憲法公布・1946＝50歳：「アメリカの女性」「アメリカ教育読本」、

_連合軍総司令部に勤務、治安維持法をはじめとする弾圧諸法廃止のため積極的に活動した。

新憲法施行・1947＝51歳：石川啄木「一握の砂」英訳。_アメリカ研究叢書「1政治・法制編」訳、「民主主義は生活の中に」「地の塩」「星条旗の子供」、参議院外務専門委員。

三大事件・・・1949＝53歳：「女性と教養」、

朝鮮戦争始・1950＝54歳：「アメリカの良心」、

独立回復・・・1951＝55歳：

テレビ放送始・1953＝57歳：「明るい未来のために」「私の眼」、リディア=カーク「モスコウの消印のある手紙」訳、

自衛隊発足・1954＝58歳：ベネー「アメリカ」訳、

55年体制始・1955＝59歳：_日本ユネスコ国内委員(以後9年)。

国連加盟・・・1956＝60歳：「恋愛と友情」「幸福のまど」「生活の智慧」、ベンジャミン=P=トーマス「リンカーン伝」訳、ブルックス「ヘレン=ケラー」訳、

なべ底不況・1957＝61歳：「新しい頭の使い方」、

インスタントラーメン・1958＝62歳：_アメリカ広告審議会民衆資本主義委員会「アメリカ社会の新展望」訳、

美智子妃・・・1959＝63歳：「新聞と読者」、ベンジャミン=P=トーマス「リンカーン」訳、「カーネギー自伝」訳、チェスター=ボールス「平和への道」訳、

安保闘争・・・1960＝64歳：ゼメロク「アメリカは変貌する」訳、

タイタイ病始・1961＝65歳：「民主主義はこどものときから」、ジョン=F=ケネディ「ニューフロンティア」訳、

全国総合計画1962＝66歳：ジョン=ガンサー「現代ヨーロッパの内幕」訳、

TV宇宙中継始1963＝67歳：ロイ=フープス「平和部隊読本」訳、

東京オリンピック1964＝68歳：「エリノ=アールズヴェルト自叙伝」訳、_国家公安委員(以後10年)。

美濃部都知事1967＝71歳：「生きて学ぶ」、

震ヶ関ビル・・・1968＝72歳：

全共闘・・・1969＝73歳：エレノ=アールズヴェルト「エチケット」訳、

大阪万博・・・1970＝74歳：「時の足音」、

トルショック・・・1971＝75歳：エレノ=アールズヴェルト「人生とエチケット」訳

日中国交回復1972＝76歳：「朝の訪問客」、

石油ショック1973＝77歳：

田中角栄逮捕1976＝80歳：神奈川県大磯町で、_没した。

ほかに、選挙制度審議会委員・中央教育審議会委員・憲法調査会委員・放送番組向上委員長などを歴任。かたわら立教大学講師・運輸省顧問もつとめた。著書はほかに「支那古代美術論」「狂言の研究」「支那古代風景論」などがあり、与謝野晶子「みだれ髪」・伊藤左千夫「牛飼の歌」の英訳もある。

「日本の女性」、インターネットWikipedia、